

学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	インクルーシブ 教育	食育の推進
学校・家庭・ 地域連携	その他	

事業名

特別支援員設置事業

事業の経過・背景・課題

本組合には1中学校があり、令和6年4月には215人が在籍している。その内、支援学級に19名と数多く在籍している。また、中学校で発生している問題事象のうち、7～8割は特性や支援学級在籍で支援の必要な生徒の事象となっている。

取組内容

交付実績額： 310 千円

生徒の状態に応じた支援員の配置を行うため、町（組合）特別支援委員会を含めて検討し、必要最低限の特別支援員を配置している。

※中学校に7名の支援員を配置



事業の成果・今後の展望等

特別支援員の配置により、個々の認知特性や教育的ニーズを的確に把握し、「個別最適化した学び方」や「指導の個別化」を進めることができた。引き続き、学級満足度調査（※）を活用した制度の高いアセスメントを基にした支援を行うことで、誰もが安心して学べる学級経営と、すべての生徒が「できる実感」がもてるユニバーサルデザイン化された授業づくりに努める。

(※) 学級満足度調査 (Q-U)

早稲田大学の教授が開発された心理テスト。各児童生徒の意欲や満足度、学級集団の状態を検査することができるもので、教師の考えている現状と実態のズレを把握することや、不登校・いじめ被害も早期発見することができる。

この結果を基に、教師はこれまでの指導を見直し、問題解決に向けて学級経営や授業改善を行っている。与謝野町宮津市中学校組合では、全生徒を対象に年2回実施。また、その結果を基に、学級満足度調査活用推進委員会を年に4回開催。その中で研修（講義・演習）を行い、本調査をしっかりと活用することができるよう努めている。

問い合わせ先

与謝野町宮津市中学校組合学校教育課 (0772-43-9025)